ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

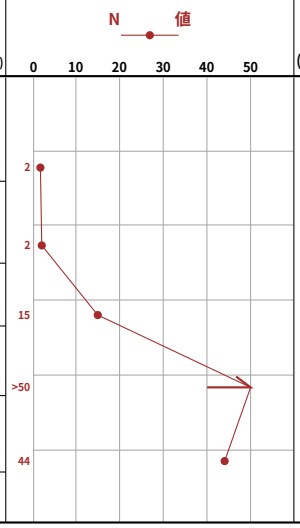
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	No.1	調査位置				北　緯	36 ° 28 ' 05.0000 "
発 注 機 関	栃木県真岡土木事務所			調査期間	2008-06-09 ～ 2008-06-10	東　経	140 ° 09 ' 31.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	141.16 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0.00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	5.30 m								エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	140.56	0.60	0.60		埋土 (Fl)	暗灰	緩い		粘土が混じる礫からなる。φ0-300mm程度の岩砕である。		06/09 0.61
1	139.71	0.85	1.45		礫混じり砂質粘土 (CHS-G)	褐～暗灰		軟らかい	0.6～0.95mは火山灰質である。0.95～1.45mは礫と砂質粘土の互層状態である。有機物が混じる。		
2	138.91	0.80	2.25		礫混じりシルト (M-G)	黒		軟らかい	φ10～50mm程度の亜角が混じる。下部程礫が少ない。		
	138.31	0.60	2.85		礫混じり粘土 (CH-G)	茶褐		中位	火山灰質の粘性土である。下部はφ10～60mm程度の亜角礫が多い。		
3 4	136.51	1.80	4.65		風化砂岩 (Ss)	褐灰	中ぐらい		礫混じり粘土状のコアとなる。コアは指先で容易に砕ける。		
5	135.86	0.65	5.30		風化頁岩 (Sh)	黒	密な		コアは100%採取されるが、亀裂が多く角礫状となる。		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)
1.05	1／20	1／15		2／35
1.40				
2.05	1	1	1／25	3／45
2.50				
3.05	6	5	4	15／30
3.35				
4.05	13	24	13／2	50／22
4.27				
5.00	16	14	14	44／30
5.30				



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日